

12・9 環境生活企画室交渉

「専門職」配置努力も改善は継続課題

Ⅱ 獣医師の処遇改善に向け給料調整数を要求中Ⅱ

県職労では、各保健所(環境衛生課・環境保健研究センター)・食肉衛生検査所の課題を集約し、環境生活部長あて独自要請書を作成。12

月9日に小島環境生活企画室長に提出し、基本姿勢を質すべく交渉を行った。

①専門職配置の考え方
保健所は、欠員を出さないことを第一に職責に

期実現をはかるよう訴えた。②薬剤師・獣医師処遇改善
薬剤師は他県均衡を考慮して必要に応じて検討する

④環境研の体制強化
体制強化の必要性は認識しているとし、コロナ対策のPCR検査体制の強化に



▲小島環境保健企画室長(右)に要請書を手渡す宮手中軌と藤村書記次長



▲環境保健企画室長交渉の様子

対応できる職員配置に努める、薬剤師は定年退職者が不在の年度でも職員募集をし、確保に努めるとした。

③保健所・執務環境改善
動物愛護は保健所だけでは限界があり、関係機関との連携が必要とし、動物愛護センター(仮称)整備により負担軽減が見込まれる

最後に小島環境生活企画室長から「専門職の確保や業務水準の維持等は重要な課題。職員からの要望をできる限り実現できるように取り組む」との姿勢を確認した。今後も課題を集約し、要求・交渉を進めていく。

執務環境改善は組合員の総意

胆江・花巻(遠野)支部で独自交渉

12月4日、近藤県南広域振興局総務部長に対し佐々木支部長より「支部独自要

求書」を提出した。星川書記長から要求書の概要を説明し、職場実態に基づいた設備の維持管理や労働環境

について確認した。今年度は、青婦部も参加し、災害当番の負担軽減につ

て、県南局イベント応援の在り方、及び公舎改修について、生の声を届けた。

総務部長から「職員の代表として、県庁に伝えることは確実に伝えていく、庁舎や公舎も老朽化しており、優先順位を決め、引き続き改善に努力していく」との回答を引き出した。



▲胆江支部の独自交渉の様子(手前が支部執行部)



▲花巻支部・独自交渉の様子(手前が支部執行部)



▲花巻遠野・独自交渉に臨む佐々木知正副支部長(右)

12月9日花巻総務センター木戸口所長、10日遠野土木センター北村所長に対し、それぞれ支部独自要請書を提出した。花巻総務センターには、時差出勤が拡大していること、時間外労働が増えていることから、時間外における冷暖房稼働などを要求した。朝の勤務時間

前の除雪作業については、ボランティアで対応した場合の労災対象に認められないことなどの問題も指摘しながら、超過勤務手当を支給するよう求めた。また、遠野合庁については、冷暖房の弾力的運用の継続、固定型網戸の設置を求めた。庁舎管理者から職員の要求に応えたいとの姿勢を確認するも、具体改善は継続課題に。



▲11.19 総務部長交渉 ▲白水総務部長



▲7.9 新採用加入ガイダンス



▲2.8 県職労加入促進対策会議



▲11.24 現業評議会人事課長交渉



▲9.30 八幡平普及センター意見交換会



▲6.14 県庁・盛岡支部合同いちご狩り



▲1.11 県庁・盛岡支部合同旗開き



▲12.3 達増知事との意見交換



▲10.14 県南四支部合同独自要請交渉



▲6.20 県職連合会第28回・県職第124回定期大会



▲1.18 青婦部冬のスポーツ交流会



■年末・年始の事故等には十分お気をつけてください。■

寒さが厳しい冬期の外出では、路面凍結等もあり、車の運転には十分に気をつけなければなりません。

また、年末・年始の休暇は帰省・旅行・レジャーなど出かける機会が増えたり、雪道に慣れていない県外からの車両が多くなったり、いつにも増して注意が必要です。

万が一の事故の際は自治労マイカー共済の緊急連絡先へ!

◆マイカー共済事故受付センター◆
フリーダイヤル 0120-0889-24

◆自治労マイカー共済ロードサービス◆
フリーダイヤル 0120-889-376